

カモネットによる復興チャリティーコンサート 2019

弦楽四重奏団カモネット *Quamoness*

口には美味、
耳には心地よい音を。
食によつわる音楽を



Violin 辻井 淳

東京藝大卒業後、DAADによりシュトゥットガルト音楽大学へ。日本音楽コンクール第2位。1984~93年、京都市交響楽団コンサートマスター。CDは25枚以上。アンサンブルベガ・マイハート弦楽四重奏団メンバー。



Violin 小林 真奈美

神戸女学院大学音楽学部卒業。同大学院修了。桐朋学園オーケストラアカデミー修了。ベルギー RMI や草津国際音楽祭等でマスタークラスを受講。現在、フリー奏者として室内楽やオーケストラ、ソロの各分野にて活動中。



Viola 沖田 孝司

東京音楽大学卒業後、ドイツ国立デトモルト音楽大学を卒業。その後、ドルトムント市立フィルハーモニー・オーケストラに在籍。同フィルにて広島原爆被爆者の為のチャリティーコンサート「HIROSHIMA'93」を開催後帰国。マイ・ハート弦楽四重奏団を結成し、「マイ・ハート・コンサート」を開始。2018年3月より、広島市特任大使「ひろしま文化大使」に就任。



Cello 西村 まなみ

京都市立芸術大学卒業。第3回宗次ホール弦楽四重奏コンクール第1位、ハイドン賞を受賞。第70回全日本学生音楽コンクール名古屋大会チェロ部門大学の部第3位。第31回京都芸術祭音楽部門新人賞受賞。現在、関西を中心に演奏活動を行っている。

弦楽四重奏団カモネット

2010年から活動を開始した弦楽四重奏団で、作曲家カモネットティ氏の作品を演奏したことからこの名前がついた。正式にはカモネットティ弦楽四重奏団であるが、カモネットティ(Camonetti)+クアルテット(Quartett)の造語でカモネット(Quamonett 日本語表記では時に「鴨網」と記される)と呼ばれるようになった。ちなみに、ホルンが加わるとホルネット(Hornett)と呼ばれることがある。

カモネットのメンバーである小林、沖田、西村の各氏は辻井のアドバイスを継続的に受けており、その意味では辻井を中心としたアンサンブルではあるが、大まかな奏法の統一や、楽器のコンディションを揃えるなかで合図ができる限り止めたり、敢えてボーアイグを揃えないなど、自由な発想に基づく演奏を目指している。近年主流の音量絶対主義には全員が反対の立場をとり、弦楽器の最大の特質は音色にあるという共通の認識のもとに活動の場を拡げつつある。

(thu)
2019 9 / 5 入場無料
17:30~

あえりあ遠野 中ホール

—Program—

タンブラン ゴセック

「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より モーツアルト

「食卓の音楽」から テレマン

「弦楽のためのソナタ第1番から」 ロッシーニ

「くるみ割り人形」より チャイコフスキイ

狩りのポルカ シュトラウス